

## GX(グリーントランスフォーメーション)の普及を促進する

### 「TOKYO GX ACTION」がキックオフ

#### 「TOKYO GX ACTION BEGINNING～知るから始まる脱炭素～」開催

10月13日(日)、14日(月・祝)開催 GXの「WHY」と「HOW」に触れる

特設サイトURL : [tokyo-gx-action.jp](https://tokyo-gx-action.jp)

東京都は、2030年のカーボンハーフ、2050年のカーボンニュートラルの実現に向け、化石燃料からクリーンエネルギー中心の社会へと転換するGX(グリーントランスフォーメーション)の取組を加速させていきます。その一環として、都民一人一人がGXを理解し行動を変えていくことを目指し、年間を通じて最新のGX技術などを広く発信していく「TOKYO GX ACTION」をスタート。10月13日(日)、14日(月・祝)には東京国際フォーラムにてキックオフイベント「TOKYO GX ACTION BEGINNING～知るから始まる脱炭素～」を開催し、約1万人が来場しました。



GX・気候変動対策を、我慢ではなく、脱炭素につながる新しい選択肢として取り入れたいものにするため、「物語」形式で理解を進めてもらえるよう「雑誌 / MAGAZINE」をテーマに会場の世界観を構成。現在地球で起きている気候変動の危機を知る「GXシアター」や、深刻な状況を打破する様々なアクションを映し出す「GXキューブ」のほか、「MOBILITY」、「HOUSE」、「ENERGY」、「FOOD」の4つのジャンルそれぞれにおける解決策の展示や体験、ワークショップなどを実施しました。

2025年5月には、2024年3月に引き続いての開催となる、ABB FIAフォーミュラE世界選手権「東京E-Prix」と合わせて大規模なイベントも開催予定です。「TOKYO GX ACTION」を通じて、引き続きGX(グリーントランスフォーメーション)の取組を加速させていきます。

<オープニングセレモニー>



13日に行われたオープニングセレモニーには東京都の潮田勉副知事が登壇し開幕。その後、TOKYO GX ACTION 公式アンバサダーであり、タレントの山之内すずさんが(株)RDSのモビリティプラットフォーム「Raptor」に乗って登壇し、会場を沸かせました。2人のトークセッションでは「化石燃料からクリーンエネルギー中心の社会へと転換するGX(グリーントランスフォーメーション)の『なぜ?』を知る」というイベントの背景や意義に触れ、展示されているコンテンツの紹介も行いました。山之内さんは、アンバサダーとして「特に若い方が家族や友達と話すきっかけになるようなことを、楽しく発信していきたい」と意気込みを語りました。

<ステージコンテンツ (基調講演・トークセッション・認証式・自転車体験) >

「グリーン水素率先利用事業者」として(株)大林組、清水建設(株)の2社に対する認証式が行われた後、2日間を通して行われたステージコンテンツは東京大学名誉教授の伊藤元重先生による基調講演「今求められるGX」から始まり、世界で注目を集めるGXの課題や解決策について講演しました。



13日はアンバサダーの山之内すずさんに加えて、環境活動家の露木しいなさんが登壇し、「なぜする?なにをする? GXアクション」と題して、GXの素朴な「なぜ?」に触れながら、クイズも取り入れて楽しく学べるトークセッションを実施しました。露木さんのインドネシアでの経験や解説に山之内さんも「まずは興味を持つことが大切」と反応し、参加者と一緒にGXへの理解を深めていました。

その後は、「水素をつくる自転車体験 supported by 東京スイソミル」を実施。3分間自転車を漕いで発電、水に流して電気分解し、どれくらいの水素がつかれるかのチャレンジを開催しました。全力で自転車体験を行った参加者からは、エネルギーの大切さを感じているコメントが多く見られました。





14日はラジオDJ/キャスターのサッシャさん、俳優でありながら農業に携わり(株)AGRIKO 代表取締役を務める小林涼子さん、日産自動車(株)の西川直志さんを招き、「フォーミュラEから見えるZEVの魅力」をテーマにトーク。フォーミュラEの魅力や見どころ、市販車との関わりなどについて語りました。「環境にやさしい電気自動車でも、ワクワクするものができる」と証明する非常にいいコンテンツ」という西川さんのお話にサッシャさんと小林さんも興味深く聞き入り、参加者は次回の「東京E-Prix」への期待を高めていました。

#### <TOKYO GX ACTION Special Artist 「Da-iCE スペシャルLIVE」>

本イベントの締めくくりとしてDa-iCEによるスペシャルライブが行われました。約450人のファンが集結し、彼らの音楽とエネルギーに包まれたステージとなりました。ライブは、オープニングナンバー「CITRUS」で幕を開け、メンバーのダンスと歌声が会場を一気に盛り上げました。その後も、「I wonder」や「スターマイン」などの8曲が次々と披露されました。

#### <展示コンテンツ>

展示エリアではHOUSE、MOBILITY、ENERGY、FOODの4つのエリアに分かれ、GX技術に関する多彩な展示が行われました。



<本イベントに関するお問い合わせ先>

TOKYO GX ACTION 広報事務局 (プラチナム内) 担当: 島本・今野  
TEL : 03-5572-6071 携帯 : 050-5470-5152 MAIL : tokyo\_gx\_action\_pr@vectorinc.co.jp



HOUSEエリアでは、植物の力を活用した「ボタニカルライト」やアップサイクルされた「消防ホースを利用したバッグ」など、豊かな暮らしをもたらす脱炭素プロダクトが展示されました。

「Nissan Formula E Gen2 car, Season 8 (2021/22)」や、MOBILITYエリアに展示された電動バイク「ICOMA TATAMEL BIKE」をはじめとする次世代モビリティが注目を集めました。地上広場では風船構造で作られた電動モビリティ「poimo (ポイモ)」の体験も行われ、試乗を楽しむ来場者の姿が見られました。



ENERGYエリアでは、次世代水素ドローンや次世代型ソーラーセルなど、クリーンエネルギーの技術革新が紹介され、再生可能エネルギーをどのように日常生活や産業に取り入れていくかを考えるきっかけとなり、来場者はエネルギーの未来に対する期待を膨らませていました。

FOODエリアでは、プラントベース食品やサステナブルな食材を利用した革新的な食品など、持続可能な食の選択肢が紹介されました。地上広場のキッチンカーでは、山之内すずさんも試食した「代替三大珍味」や「代替肉を使用したバーベキュー」、「AIで効率的に餌やりしたサーモン」が販売され、多くの来場者が環境にやさしい食文化を体験しました。

<本イベントに関するお問い合わせ先>

TOKYO GX ACTION 広報事務局 (プラチナム内) 担当: 島本・今野  
TEL: 03-5572-6071 携帯: 050-5470-5152 MAIL: tokyo\_gx\_action\_pr@vectorinc.co.jp

<ワークショップ>



ワークショップでは13日に「廃棄消防ホースを使用した世界に一つだけの手作りコインケースが作れるワークショップ」が、2日間にわたって「はじめてのコンポスト ミニ講座」と「日産わくわくエコスクール」が開催されました。日常生活で取り入れられるエコなアイデアや、持続可能な社会にするためのヒントを体験しながら学ぶことができ、多くの親子連れで賑わいました。

『TOKYO GX ACTION』公式ホームページ/SNSアカウント

公式ホームページ



X



Instagram



<https://tokyo-gx-action.jp>

<本イベントに関するお問い合わせ先>

TOKYO GX ACTION 広報事務局 (プラチナム内) 担当: 島本・今野  
TEL: 03-5572-6071 携帯: 050-5470-5152 MAIL: tokyo\_gx\_action\_pr@vectorinc.co.jp